

平成 30 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	5	基本目標名	豊かな自然と共生したまち						
施策No.	36	施策名	地球温暖化防止対策・循環型社会の構築						
主管課名	環境安全課								
関係課名	商工観光課、農林水産課								
施策が目指す すがた	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化防止に向けて、省エネルギーの積極的な取組みが図られています。</li> <li>地球温暖化防止に向けて、自然エネルギーの転換・活用が図られています。</li> <li>ごみ問題に対する意識が高まり、3R活動(リデュース(減らす)、リユース(繰り返し使う)、リサイクル(再資源化する))が進み、ごみの適正処理や減量化、資源物の再利用が進んでいます。</li> <li>市民、事業者、滞在者等が環境のまちづくりに取り組んでいます。</li> </ul>								
施策の成果向上に向けての 住民と行政との 役割分担や地域 等への期待 など	市民 事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>低炭素社会の形成に向けた生活様式や環境に配慮した行動を行います。</li> <li>地球温暖化防止のため、省エネルギー対策や自然エネルギーの導入に取り組めます。</li> <li>積極的に鉄道やバスなど公共交通機関を利用します。</li> <li>3R活動に取り組めます。</li> </ul>							
	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>省資源、省エネルギーの取組み推進の啓発や支援を行うとともに、公共施設の省エネ化に率先して取り組めます。</li> <li>3R活動(リデュース、リユース、リサイクル)が市内全家庭に浸透し実践されるよう普及、啓発活動を行います。</li> <li>効率的かつ適正にごみの収集・運搬・処理を行うとともに、資源物が効率的かつ適切に回収されるよう環境(収集体制、施設等)を整備します。</li> <li>公共交通機関の利便性向上と利用のPRに取り組めます。</li> </ul>							
	その他 (地域)	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源物の集団回収を行います。</li> </ul>							
施策を実行する うえで基本と なる事業	基本事業①	温室効果ガス削減対策							
	基本事業②	廃棄物の適正処理・3R活動の推進							
	基本事業③								
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	3 (2)	3 (2)	2 (1)	9 (8)	9 (8)	9 (8)
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	1 (1)	1 (1)	0 (0)	7 (7)	7 (7)	7 (7)
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)		千円	3,187	2,311	1,132	257,599	257,462	255,093
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	1,437	1,011	1,132	1,002	955	1,717
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	1,750	1,300	0	256,597	256,507	253,376
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円						
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	6	5	4	19	18	13	
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	860	720	600	3,800	3,840	3,200	
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)		千円	3,607	3,155	2,509	15,622	15,464	12,838	
F. トータルコスト (B+E)		千円	6,794	5,466	3,641	273,221	272,926	267,931	
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の		円	72	53	26	6,032	6,081	6,055
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)								
	同 上		円	82	72	58	366	365	305
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)								
	同 上		円	154	125	84	6,398	6,446	6,359
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)									
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	4,194	4,382	4,181	4,111	4,027	4,012
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	44,036	43,555	43,152	42,706	42,340	42,132

基本事業概要シート①

施策 No.	36	施策名	地球温暖化防止対策・循環型社会の構築
基本事業名	①温室効果ガス削減対策		
基本事業の目的(意図)	省エネルギー意識の高揚と対策を促進するとともに、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を推進します。また、公共交通の利用促進を図ります。		
平成30年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【地球温暖化防止魚津市役所実行計画推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第3次地球温暖化防止魚津市役所実行計画」に基づく地球温暖化対策(機密文書リサイクル年4回、毎週水曜日のノーマイカーデー、夏の省エネ対策等)を周知、実践するとともに、「グリーン購入調達方針」に基づく環境に配慮した物品調達、使用に努めました。</li> <li>・グリーンカーテン設置事業(2小学校・1保育園・1幼稚園・1高等学校ほか、本庁・上下水道局・水族館)を実施するとともに、グリーンカーテンコンテスト(家庭・事業所・学校保育園幼稚園各部門)を実施し、魚津市環境フェスティバルにおいて表彰を行いました。</li> </ul> <p>【電気自動車等維持管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境安全課で管理する電気自動車及び急速充電器の利用推進により地球温暖化対策の普及・啓発、実践に努めました。</li> <li>・電気自動車急速充電器については、24時間、年中無休による運用を行っており、平成30年度は2,120件の利用がありました。</li> </ul> <p>【公共交通対策事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富山地方鉄道の安全輸送、利用促進のため県・沿線自治体で支援しました。</li> <li>・富山地方鉄道の市内路線バスの市民バス並料金化と夕方の増便を行うための支援を国とともに行いました。</li> </ul> <p>【魚津市民バス運行事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民バスの利用促進の一環として、地鉄バスとともに「バス無料デイ」を実施しました。</li> <li>・市街地巡回ルートの夕方1便の継続的な増便運行(帰宅時等の通勤・通学者対策)を実施しました。</li> </ul>		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
市の施設における二酸化炭素排出量	t-CO2	10,006	10,547	10,550	8,900	8,800	8,700	8,600	8,500
					9,677	9,568	9月確定予定		

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成30年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 地球温暖化防止魚津市役所実行計画推進事業	207,000	172,454	34,546	B	環境安全課
2	一般会計	電気自動車等維持管理事業	1,630,000	1,544,644	85,356	-	環境安全課
3	一般会計	○ 公共交通対策事業(施策19①再掲)	(41,769,000)	(41,614,215)	(154,785)	B	商工観光課
4		○ 魚津市民バス運行事業(施策19②再掲)	(79,320,000)	(76,267,808)	(3,052,192)	A	商工観光課
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
合計			1,837,000	1,717,098	119,902		

基本事業概要シート②

施策 No.	36	施策名	地球温暖化防止対策・循環型社会の構築
基本事業名	②廃棄物の適正処理・3R活動の推進		
基本事業の目的(意図)	廃棄物の分別の徹底を図り、ごみの減量化と適正処理及び資源物の回収とリサイクルの推進に努めます。また、市民等への3R活動の普及啓発を推進しごみの発生抑制と減量化を推進します。		
平成30年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【環境衛生推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物減量等推進審議会を1回開催し、廃棄物の減量化、適正処理等に関し調査審議しました。</li> <li>・環境保健衛生協会の事務局として総会、常任委員会(年4回)、研修会(年1回)等を開催するなど、適正な運営に努めました。</li> <li>・鴨川一斉清掃の実施やごみ収集カレンダーの作成を行いました。</li> <li>・関連団体(環境保健衛生協会、とやま環境財団等)への活動助成等を行いました。(市内2団体、県関係2団体)</li> </ul> <p>【一般廃棄物収集運搬事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般家庭から出されるごみ(もやせるごみ、もやせないごみ、金属粗大ごみ等)を適切に収集、処理施設への運搬を行いました。また、地区等で行われた清掃ボランティア活動により回収されたごみ等の収集、運搬を行いました。</li> </ul> <p>【ごみ集積場及び資源物集積場設置補助事業】(補助率1/3、上限5万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境美化等の促進のため、ごみ若しくは資源物集積場の新設又は更新する町内会へ費用の一部を助成しました。(H29:7件314千円、H30:12件571千円)</li> </ul> <p>【し尿収集事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・し尿の収集業務の委託、手数料の徴収事務及び新川広域圏へのし尿処理手数料の支払い業務を実施しました。</li> </ul> <p>【処理困難物収集運搬処理業務(不法投棄廃棄物処理事業)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄された廃棄物(一般及び産廃:投棄者が特定できない場合)を迅速、適正に処理しました。(H29:8日、H30:7日)</li> </ul> <p>【資源物集団回収推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源物を回収し、再生資源回収事業者へ引き渡した団体に対し、引渡し量に応じて報奨金(2.5円/kg)を交付しました。(H28:56団体702t、H29:60団体587t、H30:48団体529t)</li> </ul> <p>【資源物収集運搬管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区等の資源物ステーション及び常設資源物ステーション(市内6施設)に出された資源物を適切に収集、中間処理を行い、リサイクル事業者へ適切に引き渡しました。(資源物収集量H28:2,248t、H29:2,089t、H30:2,050t)</li> </ul>		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
排出ごみ(家庭系)1人1日あたりの量	g	585.4	592.4	594	582.0 582.2	572.0 573.3	562.0 558.0	552.0	542.0
分別リサイクル率	%	17	19.2	19.9	21 19.8	22 19.1	23 19.3	24	25
環境の保全のための取組みを行っている市民の割合 (再掲)	%	35.9 (H23年度)	39.0	36.2	68.0 36.6	71.0 43.8	74.0 43.7	77.0	80.0

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成30年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 環境衛生推進事業	1,863,000	1,578,181	284,819	B	環境安全課
2	一般会計	○ 一般廃棄物収集運搬事業	198,022,087	196,697,946	1,324,141	B	環境安全課
3	一般会計	ごみ集積場及び資源物集積場設置補助事業	750,000	571,000	179,000	-	環境安全課
4	一般会計	○ し尿収集事業	25,047,000	24,272,167	774,833	A	環境安全課
5	一般会計	処理困難物収集運搬処理業務(不法投棄廃棄物処理事業)	396,900	264,150	132,750	-	環境安全課
6	一般会計	○ 資源物集団回収推進事業	1,950,000	1,322,998	627,002	B	環境安全課
7	一般会計	○ 資源物収集運搬管理事業	28,938,013	28,669,099	268,914	B	環境安全課
8							
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
合計			256,967,000	253,375,541	3,591,459		

施策 No.	36	施策名	地球温暖化防止対策・循環型社会の構築
平成30年度の 評価結果(基本 事業の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①温室効果ガス削減対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地球温暖化が一因と考えられる異常気象等が地球規模で発生しており、温室効果ガスのCO2排出量の削減等が国際的に求められています。</li> <li>◆「グリーン購入調達方針」に基づく、グリーン購入適合品の調達は、目標値100%のところ平成30年度は70.5%となっています。</li> <li>◆魚津市民バスの利用者は、平成25年度をピークに減少に転じ、平成29年度までは前年度比減少となりましたが平成30年度は中学生及び高校生の乗車料金を1乗車100円とした効果もあり、年間利用者数は増加しました。一方、鉄道については、地鉄線の乗降客数(市内4駅合計)は平成29年度から2年連続で増加しました。また、あいの風線は、平成27年3月のJRからの経営譲渡時に特急電車が廃止された影響で利用者が減少し、以降減少傾向が続いています。高速バスの利用については、東京便が前年比0.04%増となりました。</li> </ul> <p>【②廃棄物の適正処理・3R活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「もやせるごみ」については事業系は僅かに増加しているものの、全体的には減少傾向にあります。(家庭系 H29:7,199t→H30:6,894t)(事業系 H29:3,486t→H30:3,597t)(計 H29:10,685t→H30:10,491t)</li> <li>◆「もやせないごみ」について、全体的には増加傾向にあります。(家庭系H29:1,672t→H30:1,693t)(事業系 H29:534t→H30:586t)(計 H29:2,206t→H30:2,279t)</li> <li>◆排出ごみ(家庭系)1人1日あたりの量は、平成28年度から若干減少しています。(H28:582.2g→H29:573.3g→H30:558.0g)</li> <li>◆資源物の全体収集量は、増加傾向にありましたが、平成28年度から減少しています。(H28:2,248t→H29:2,090t→H30:2,048t)</li> <li>◆分別リサイクル率(資源物収集量 * kg/(家庭ごみ * kg + 資源物収集量 * kg))は、前年度と比較してほぼ横ばいです。(H29:19.1%→H30:19.3%)</li> <li>◆常設資源物ステーションは6箇所(H14:(有)ミナミ、H15:(株)魚津清掃公社、H16:大町・駅前、H17:経田、H25:加積)で開設しており、その収集量は年々増加傾向にありましたが、平成28年度からは減少に転じています。</li> <li>◆地区資源物ステーションは149箇所あり、収集量は近年減少傾向にありましたが、平成29年度からは僅かに増加しています。</li> <li>◆集団回収による資源物収集量は、近年減少傾向にあります。</li> <li>◆平成23年9月から実施した「使用済み小型家電回収ステーション」の回収量については、平成30年度は平成29年度に比べ減少しています。(H29:41.4t→H30:38.9t)</li> </ul>		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (平成30年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)		
<p>【①温室効果ガス削減対策】</p> <p>&lt;電気自動車等維持管理事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆魚津市役所電気自動車用急速充電器について、定期保守点検業務を実施し、適正な利用環境の維持に努めました。</li> </ul> <p>&lt;公共交通対策事業&gt;(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域のバス利用促進協議会とともに、各ルートの魚津駅等での電車と魚津市民バス等の接続へ配慮したダイヤづくりを行ったほか、市民バス時刻表への地鉄バス・電車等の時刻の掲載を行うことにより、利便性の高いダイヤ・ルートの提供ができました。</li> </ul> <p>【②廃棄物の適正処理・3R活動の推進】</p> <p>&lt;資源物収集運搬管理事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地区資源物ステーション12箇所において、平成29年7月から古紙収集業務のモデル実験収集を行っています。平成30年度実績は、段ボール1,281kg、新聞4,418kg、雑誌654kgとなりました。</li> </ul>			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①温室効果ガス削減対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「グリーン購入調達方針」に基づき環境配慮物品等の購入に努めていくとともに、引き続き、県・市町村統一ノーマイカー運動に参加します。</li> <li>◆グリーンカーテン設置事業について、学校・保育園・幼稚園、公共施設等で実施し、引き続き地球温暖化防止への普及・啓発に努めます。併せて、グリーンカーテンコンテスト(家庭・事業所・学校保育園幼稚園各部門)を実施します。</li> <li>◆魚津市役所急速充電器について、定期的なメンテナンスを行い、利便性を維持します。</li> <li>◆安全・安心で利用できる鉄道環境の整備及び魅力・快適性アップのための各種対策等への支援を行うことにより、利用者数の維持・増加を図ります。</li> <li>◆市内における交通結節点において、引き続き市民、事業者とともに電車・バス・レンタサイクル等公共交通の利用促進の取組を行います。</li> </ul> <p>【②廃棄物の適正処理・3R活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ごみの減量化を今以上推進するためにも「食品ロス」に関して、環境保健衛生協会を中心に周知、啓発に努めます。</li> <li>◆分別リサイクル率の向上(資源物収集量の増)のため、地区資源物ステーションにおける古紙回収について、引き続きモデル実験収集を行い、各地区の意向等も考慮して本格実施できるよう準備を進めます。</li> <li>◆「使用済み小型家電回収」については、東京オリンピック関連の「都市鉱山からつくるみんなのメダルプロジェクト」は平成31年3月をもって終了しましたが、引き続き小型家電回収量の増加を目指します。</li> <li>◆富山湾沿岸の海洋ごみの約8割が河川から流出していることから、清掃活動に加え、ごみを適正に処理するよう啓発活動を行います。</li> </ul>			

<p>部会評価 (協議結果、今後の方針及び課題等について記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「第3次地球温暖化防止魚津市役所実行計画」に基づき、魚津市役所が、市民等の模範となるよう率先して地球温暖化防止活動に取り組んでいくこと。</li> <li>◆分別の徹底やリサイクルの推進を理解し実践されるように周知、啓発に努め、ごみの減量化と資源物量の増加を図ること。</li> </ul>
---	---

<p>施策の方針 (今後の事務の取組みの参考)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市民、事業者、行政が一体となった省資源、省エネルギーの取組みや自然エネルギーの活用を推進するとともに、その啓発を実施します。</li> <li>◆3R(リデュース、リユース、リサイクル)に関する情報提供や啓発に努め、ゴミの発生抑制、減量化及びリサイクルを推進します。</li> <li>◆常設資源物ステーションの周知・利用促進を図り、資源物を効果的、効率的に収集します。</li> <li>◆市所有の電気自動車急速充電器について、利用を促進するとともに適正な維持管理方法を検討します。</li> </ul>
---------------------------------	---